

# 高美小学校内 TM だより

R7.6.8. NO.8

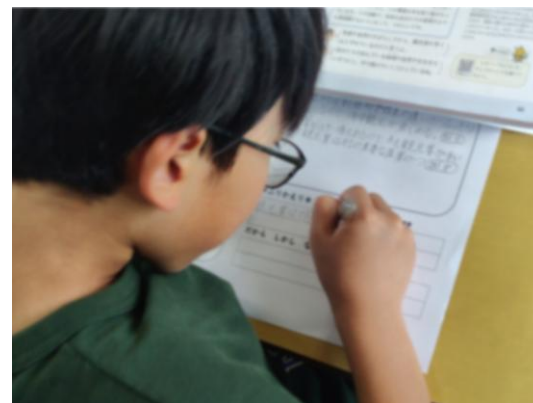
校内授業研究会がありました。5年生、6年生ともに「はてなをもとめて、自ら学びに向かう力の育成～ふりかえりを通してつながる学び～」に向けて、実践を行いました。

## ★5年生 社会「さまざまな土地の暮らし」★

授業当日の朝、子どもたちから集めておいたはてなをもとに、本時の学習課題を設定されていました。本時では、全体で確認したはてなに対して、それぞれが教科書をもとに情報収集し、ノートやワークシートにまとめました。ノートを使うか、ワークシートを使うかは、それぞれが選ぶことができ、個別最適な学びを実現することができるよう取り組まれました。全体交流では、子どもたちの発言に対して、別の子が発言したり、先生の問い直しを受けて子ども同士の発言が繋がっていく場面が見られ、自分たちで学びを深めていく姿が見られました。授業終盤のふりかえりでは、一文と一文を接続詞でつなぐ形を意識しながら、それぞれが今日の学びをふりかえりました。

## ★6年生 算数「分数÷分数」★

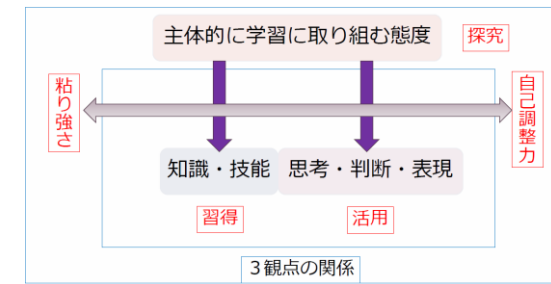
前時のふりかえりを共有することから始めておられました。特に「友だちと交流するうちにわかった」という学び方に対するふりかえりを共有したことで、子どもたちは「今日はどんなふうに学ぼうかな」という見通しをもって学習をスタートすることができました。高美小学校ではすっかりおなじみとなったふきだしを活用して全体でめあてを確認し、本時の活動に入りました。めあては「レベル1」「レベル2」「レベル3」を選ぶことができるようになっていました。個人で考えた後、全体で交流する前に、それぞれ学びを調整する時間を設けておられました。「だれと学ぶ？」の掲示を確認し、自分がどのように学ぶかを考えて活動している姿が見られました。全体交流では、いくつか意見が分かれ、一つ一つを教科書や今までの学びをふりかえりながら確認しました。終盤のふりかえりでは「めあてを達成できたか」「なぜできたか・できなかったか」「つぎにむけて」の三文で書く取り組みをされていました。



## ★研究協議会★

授業後、研究協議会を行いました。それぞれの授業について出た意見をまとめました。5年生…問いを起点にした導入や、選択できる学習方法により、子どもたちの意欲が高まっていた。予想や、比較、問い返しによって、課題を自分事として深める姿が見られた。今までの学習をふりかえっている姿から、学びのつながりを意識している様子がみられた。

6年生…これまでの学習をふりかえりながら課題に取り組むことで、学びのつながりを意識できていた。ふりかえりで「なぜできたか・できなかったか」を考えさせ、次の学びにつなげることが重要である。ふりかえりをする中で、「次はこうしよう」という気持ちが育っていくのでは。



## ★講師 大阪大谷大学 今宮教授の講義★

・知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を別々に評価するのではなく、知識をどのような様子で習得しているか、どのような様子で活用しているかを見取っていかねばならない。

・文字でふりかえりを書くことで思考力が育つ。難しい場合は、録音や、絵とコメントでもよい。

・「めあてに対してどうだったか→そう考える理由→本時であった事例、出来事→次に向けての調整」の順でふりかえりを行うとよい。

・ふりかえりの視点、文例の提示は効果的

・ルーブリックを設定することは、児童にとっても教師にとっても意味がある。

・コンピテンシー…汎用性のある学力。知っているだけでなく、使うことができるかどうか重要。

## ★まとめ★

・子どもたちの「はてな」を生かした課題設定は、主体的に学習に向かう姿につながる。  
・ふりかえりは、学習内容だけでなく学び方を見つめ直し、次の学びにつなげるためにも重要である。

・ふりかえりの視点や文例を示すことは、子どもたちが自分の学びを見つめ直す上で効果的である。

多くの学びがある授業研究会となりました。子どもたちの学びに向かう姿勢を育てるために、よりよい授業づくりができるようこれからも取り組んでいきたいと思います。

## ふりかえりの方法

文字で書くことの良さ（思考）  
録音（記録）  
文字以外の方法（合理的配慮）



視点・文例の提示→カスタマイズ→視点・文例の追加

## 設定する意味

